

基本方針1:生活習慣病の発症予防と重症化予防

① 特定健康診査の受診率向上に係る取組

- ・夜間健診(集団健診)の実施(がん検診と同時開催)
- ・特定健康診査3年連続受診者に抽選で景品を贈呈
- ・特定健康診査及びがん検診の受診者に抽選で景品を贈呈
- ・地域ぐるみの特定健康診査受診呼びかけの強化(健診サポーター養成講座の開催)
- ・広報活動(市広報紙やデジタルサイネージ等を使用した広報の実施)

② がん検診の受診率向上に係る取組

- ・5種類のがん検診と特定健康診査との同時実施
- ・協会けんぽが主催する被扶養者を対象とした特定健診の集団健診会場において、本市の5つのがん検診を同時実施
- ・子宮頸がん検診、乳がん検診に係る無料クーポン券の交付及び個別受診勧奨

③ COPD認知度向上及び禁煙支援事業

- ・特定健康診査を受診した者のうち、喫煙者に対しCOPD(タバコ肺)の周知及び禁煙外来の受診を促す勧奨通知を送付し、禁煙外来を受診した者に対し抽選で景品を贈呈

基本方針2:ライフステージに応じた健康づくり

次世代の健康

- ・「広島市未成年者の禁酒・禁煙環境づくり事業実行委員会」の開催
- ・乳幼児健康診査時における受動喫煙防止啓発リーフレット配布及び母子健康手帳交付時に妊婦及び配偶者等に対する禁煙指導の実施
- ・乳幼児健康診査や常設オープンスペースなどの機会を捉え、親子(働く世代と次世代)を対象として正しい生活習慣に関する啓発の実施

働く世代の健康

① 「健康経営」認知度向上に向けた取組

- ・民間ラジオ局及び全国健康保険協会広島支部と共催したラジオキャンペーンの継続実施
- ・健康経営セミナーの開催(共催、後援)
- ・広島市広報媒体(市ホームページ、市政だより、SNS等)を用いた啓発の実施

② 生活習慣改善に向けた取組

- ・30歳代の若い年代の家族(働く世代)を対象として、食事バランスガイドの普及等、正しい生活習慣を身につけるための教室を実施
- ・ウォーキング認定制度における広島広域都市圏ポイント付与の継続実施及び広報の強化

③ 歯周病有病者率減少のための取組

- ・対象年齢に45歳を追加して実施(令和3年度の対象者:30歳・35歳・40歳・45歳・50歳・60歳・70歳の人)
- ・節目年齢歯科健診の対象者のうち広島市国保加入者に対し、受診勧奨通知に合わせてアンケートを送付し、その結果を踏まえ受診率向上対策を検討する
- ・広島市公式LINEを活用した受診勧奨
- ・受診勧奨用ポスター等を作成し、商工会などを通じて事業所へ配付する

高齢世代の健康

保健事業と介護予防事業の一体的実施

- ・高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細かな支援を行うため、地区担当保健師が必要な支援のコーディネートを行いながら、医療専門職や関係機関と連携し、高齢者の保健と介護予防に係る事業を一体的に実施する(服薬・口腔・栄養に関する相談及び指導、後期高齢者への保健指導)

基本方針3:社会全体で健康を支え守るための社会環境の整備

① 「健康経営」と連動させた「元気じゃけんひろしま21協賛店・団体」の広報強化

「企業が従業員に対して行う健康づくりの取組」が認証対象であることの広報を強化し、健康経営に取り組む企業の増加へつなげる

② 改正健康増進法に伴う受動喫煙対策の強化